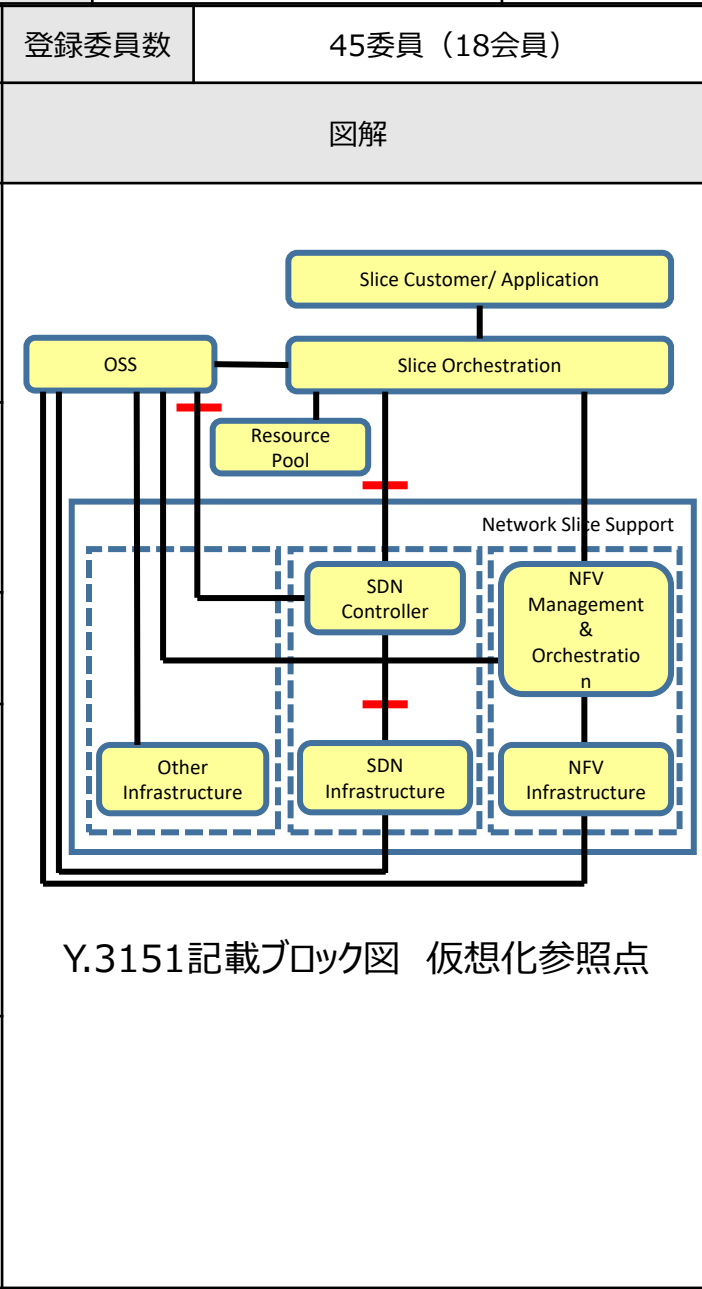


企画戦略委員	辻河 亨（NTT） 渡辺 伸吾（KDDI）
正副委員長 リーダー・サブ	委員長：後藤 良則(NTT) 副委員長：桑原 幹夫(日立製作所)
活動の目的・意義	- Future Networks (ITU-T SG13)、及び、QoSアーキテクチャ(ITU-T SG12)関連の国際・国内標準化活動をリードし、プレゼンスを発揮する。 - CJK IT Standards Meeting 配下 NSA-WG*にて、日中韓（TTC,CCSA,TTA）で意見交換/整合を行い、国際標準化に向けての活動を促進する。 *NSA: Network and Service Architecture 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関して信号制御専門委員会、AI活用専門委員会と連携した検討
活動する上での課題	- NetworkのSoftware化/Slice/Autonomous、AIとIoTとの関係性の整理と協調活動の在り方を検討。 - QKDNを含む、量子暗号への対応。 - OPEN Source、Operation等の検討を進めている各種フォーラムとの連携方法、情報収集の在り方や対応。
関連のSDGsゴール	
標準化方針	- SG13の将来網課題へのアップストリーム活動を総務省と連携し活動する。 - SDN、NFVを含む、ネットワークのソフトウェア化課題等の調査、情報収集/分析、検討とアップストリーム等の活動を行う。 - Network2030、量子鍵配送について、専門家と連携して活動する。 - SG13勧告のダウンストリームは、会員要望に応じて対応し、ITUの検討状況に応じて、制定済TTC標準並びに技術レポートの更新を行う。 - CJK NSA-WG対応に際して、必要に応じ他専門委員会と連携する。 - 信号制御専門委員会でのSG11へのアップストリーム活動に連携する。
国内外標準化団体動向	- Networkソフト化関連の、Orchestrator/Slice等将来網の要件、アーキテクチャ、機能の議論がSG13で継続。 - 継続課題である、SDN、Big DATA、Cloud、DAN、ICN/CCN、QKDN等も、SG13で研究が継続している。 - CJK NSA WGにて、Smart city、AI等の各種技術/用途における、中国、韓国との情報交換も継続。（CJK-17より：COVID-19の為、中断） - AI、Autonomous NW関連の議論もSG13/FGで継続。



重点取り組みと成果	専門委員会 - 他専門委員会、AGと連携して、CJK NSA-WGの対処を行う。（今年度は、未開催） 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関して信号制御、AI活用、MM、IoTエリアNWの各専門委員会と連携した検討。 NGNアップストリーム SWG - ITU-T SG13会合への対処方針並びに、寄書審議を実施し、TTCメンバからの提案調整を実施。 - QKDN、Autonomous NW関連課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を実施。 QoS アーキテクチャ SWG - 必要に応じて、NGNの品質情報転送機能の実現方法の標準化に関して、関連委員会と情報交換する。 クラウドSWG - クラウド、SDN/NFV関連の技術動向・標準化動向について調査及び、各専門委員会と連携してNFV関係活動の取り纏め。 NetSoft SWG - ネットワーク ソフト化、Autonomous NW関連技術課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を行う。 Autonomous Network AH - ITU-T FG AN対応の国内議論/情報共有の場として、AN AHを設置し、専門委員会を横断した活動を実施。			
-----------	---	--	--	--

関連する専門委員会とその内容	- Security専門委員会（QKDN関連） - 信号制御専門委員会（CJK対応） - 信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワーク専門委員会（2030年を見据えた将来網検討）			
----------------	---	--	--	--

主な活動項目	概況指標	2021年度目標（当初計画時）	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	7件	
	外部会合への参加・連携状況	SG13:11月会合	13名	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	-	0件	
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 QKDに関するTRを作成	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	3件 ・JT-Y3802 ・JT-Y3803 ・JT-Y3804	JT:4件 ・JT-Y3800v1.1 ・JT-Y3802v1.1 ・JT-Y3803v1.1 ・JT-Y3804v1.1	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	-	-	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告 SG13 会合報告（未定）	・SG13会合報告（July Vol.36/No.2）	

新テーマ及び重点取り組み	専門委員会 - 他専門委員会、AGと連携して、CJK NSA-WGの対処を行う。（今年度は、未開催） 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関して信号制御、AI活用、MM、IoTエリアNWの各専門委員会と連携した検討。 NGNアップストリーム SWG - ITU-T SG13会合への対処方針並びに、寄書審議を実施し、TTCメンバからの提案調整を実施。 - QKDN、Autonomous NW関連課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を実施。 QoS アーキテクチャ SWG - 必要に応じて、NGNの品質情報転送機能の実現方法の標準化に関して、関連委員会と情報交換する。 クラウドSWG - クラウド、SDN/NFV関連の技術動向・標準化動向について調査及び、各専門委員会と連携してNFV関係活動の取り纏め。 NetSoft SWG - ネットワーク ソフト化、Autonomous NW関連技術課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を行う。 Autonomous Network AH - ITU-T FG AN対応の国内議論/情報共有の場として、AN AHを設置し、専門委員会を横断した活動を実施。
--------------	---

関連する専門委員会または外部組織とその内容	- Security専門委員会（QKDN関連） - 信号制御専門委員会（CJK対応） - 信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会（2030年を見据えた将来網検討） IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を踏まえたWI検討
-----------------------	---

主な活動項目	概況指標	2022年度目標（当初計画時）	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-		
	外部会合への参加・連携状況	SG13:月会合（未定）		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	-		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	0件		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	-		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告 SG13 会合報告（未定）		